

## ARCHTECTURE REVIEW



## 建築見て歩記 その22

安藤シリーズの9回目は、天白区にある住宅で、1988年に竣工し、建築雑誌にも掲載された「小倉邸」ですが、現在は持ち主が変わっています。前回と同様の、型枠CB造ですが、何と言っても、南に開口部を取らず北側の中庭に向けた開口で採光する、という大胆な構成に驚かされます。中庭上部の長いスパンの梁が「箱型」を完成させる…ここも安藤流です。

## CURRENTLY WORKS



## マンションリフォーム その1 玄関

当社では数少ない、マンションの改修事例です。玄関ホールに、外部に面する窓がなく、暗めの空間でしたので、隣接するリビングとの間仕切に、インテリアウインドウを作りました。透明ガラスの嵌め殺しですが半透明のシートを貼り、スリット状に透明部分を残すと共に、中央にはお施主様の苗字を、英文字のオリジナル書体で、控えめに入れています。

## PRIVATE TOPICS



冬至の日の出を背にした[光学硝子舞台]

## 太田のアート探訪記 その6 「江之浦測候所」 その1

小田原の南、相模湾を臨む高台に、アーティストの杉本博司が構想・設計し、運営する「江之浦測候所」が、2017年の10月にオープンしました。謂われのある素材が多用された「庭」と、夏至、冬至、春分・秋分の日の日の出方向に倣って、新たに設計・建設した建築群で構成されたこの場所は、杉本氏の永年の想いが結実した「アルカディア」とも言えます。

\* 見学は完全予約制で、入場時刻指定・2時間となっています。

## EDITIONAL NOTE

5月と言えば「端午の節句」ですが、これも調べてみました。起源は中国で、元々は厄払いの行事だったのが日本では、「菖蒲」が「尚武」となり、男子のための行事となったようです。江戸時代には公的行事となり昭和23年には「こどもの日」として、男女問わずの祝日となりました。それでもやっぱり男子の日ですが…

編集担当：太田・藤原